

HOT

コミュニケーション

静寂！スポーツ吹矢大会



北海道スポーツウエルネス吹矢協会主催の「第4回北海道スポーツウエルネス吹矢レディース大会」が総合体育館で行われ、アウル当別支部など全道18支部より、約70人が参加しました。競技は、的までの距離が異なる3クラス(6・8・10m)で行われ、6ラウンドの合計得点を競うもの。選手は精神統一して円形的的をめがけ、次々に息を使って矢を放っていました。(6月23日)

田植え体験などで水に親しむ



篠津地域農業体験学習「田植え体験」が、水と里ネットしのつ中央などの主催で川南揚水機場周辺(蔵岱町)で行われ、町内外から多くの親子連れが参加しました。田植え体験では、苗(ゆめぴりか)の植え方の説明を指導員から受けた後、田植えを開始。始めは恐る恐る田んぼに入っていた子どもたちも、すぐに慣れ、泥だらけになりながら次々に苗を植えていました。当日は、篠津運河ボート下りやドジョウすくいなど、水に親しむイベントもあり参加者を楽しませていました。秋には稲刈り体験も行われます。(6月1日)

みんなで交通ルールのお勉強



認定こども園おとぎのくにで、3歳児から5歳児を対象とした「交通安全教室」が、北警察署と町交通安全推進委員会などの協力により行われました。園内には信号機と横断歩道の機材が設置され、子どもたちは興味津々。横断歩道の渡り方などの交通ルールを教えた後には、安全確認後に横断歩道を渡る体験を通じて、交通安全の理解を深めていました。北海道警察のキャラクター「ほくとくん」と町のキャラクター「とべのすけ」も登場し、園児たちからは歓声があがっていました。(6月3日)

広告

広告

広告

広告

高齢者の声を授業に生かす



北海道医療大学リハビリテーション学部3年生が、町内8カ所の高齢者クラブに出向き、演習を行いました。積雪や寒冷が住民生活に及ぼす影響を理解することを目標にした授業の一環で、取材したのは「白樺交友クラブ」の回。学生8人が高齢者14人へ、ミニ講話や当別シャッキリ体操などを行いました。「飲食でむせたりしないか」など日常生活をテーマにした約40項目の聞き取りも行い、高齢者は「学生のためになるならとの想いで、正直に答えました。孫と話しているようで楽しかった」とお話ししてくれました。(6月6日)

熱気伝わる工房で貴重体験



スウェーデンからお招きした工芸家が町内に滞在しながら制作活動をする「アーティスト・イン・レジデンス」が、スウェーデン交流センターで7月7日まで行われています。来日したのはガラス作家のロベルト・オルデルゴードンさん。6月15日にはロベルトさんがガラス作品を制作する様子が公開され、来場者は普段は入ることができない工房で、1200度以上にもなる窯の熱気も体感。作品は制作中に割れてしまうこともあるとの説明を受け、来場者は真剣な眼差しで静かにじっと見入っていました。(6月15日)

